vinetur

スパークリングワインの輸出が35.5%減少し、スペインはブラジル市場でのシェアを縮小した

ブラジルは2026年上半期に7,940万リットルを輸入した。一方、スペインの瓶詰めワインの販売量はほぼ横ばいであった。

2026年9月7日（月）



ブラジルは2026年上半期にワインの輸入量を増加させたが、スペインはこの傾向に逆行し、スパークリングワインの出荷量が急減したことで、スティルワインの安定した販売を相殺し、市場でのシェアを落とした。

スペインワイン市場観測所（OIVE）が分析し、Mercados del Vinoが報じたブラジル貿易局（SECEX）の記録によると、1月から6月にかけて、ブラジルは7,940万リットルのワインを輸入し、その額は2億3,430万ユーロに達した。 前年同期と比較すると、数量は9.1%、金額は5.9%の増加となった。

この数字は、ブラジルが2025年上半期に比べて660万リットル多くの輸入ワインを購入し、1,310万ユーロ多く支出したことを示している。数量の伸びが金額の伸びを上回ったため、平均輸入単価は2.9%下落し、1リットルあたり2.95ユーロとなった。　この差は、単価の低下、より安価な製品へのシフト、あるいはその両方を示唆しているが、入手可能なデータではこれらの影響を完全に区別することはできない。

ブラジル市場は依然としてボトル入りワインが中心であった。このカテゴリーは、当該半期の輸入ワイン購入量のほぼすべてを占め、数量は10.3%増の7,660万リットル、金額は6.6%増の2億1,610万ユーロに達した。　ボトル入りワインは、輸入総量の96%、輸入総額の92%を占めた。

チリは、ブラジルにおける主要な海外ワイン供給国としての地位を強化した。　チリからの出荷量は、今年上半期に3,920万リットル（前年同期比11.9%増）に達し、金額は9,300万ユーロ近く（同9.7%増）を記録した。これにより、同期間にブラジルが輸入したワイン総量の約半分をチリが占めた。

アルゼンチンは数量で2位となり、1,350万リットル（14.5%増）、金額は3,990万ユーロ（1.7%増）を記録した。　ポルトガルは1,320万リットル（6.2%増）、3,660万ユーロ（11.8%増）と、僅差で続いた。　イタリアは数量で480万リットルで4位、金額で1,970万ユーロで5位となった。フランスは金額で2,750万ユーロで4位となったが、全体的な販売量はわずかに減少した。

スペインは、市場全体の拡大の波に乗ることができなかった。今年上半期、ブラジルへのワイン販売量は8.6%減の350万リットル、販売額は7.2%減の1,010万ユーロとなった。　四捨五入した数値に基づくと、これは2025年同期比で約32万9,000リットル、約78万4,000ユーロの減少に相当する。

この減少により、ブラジル市場におけるスペインの供給国順位は、数量ベースで5位、金額ベースで6位となった。ブラジルへの平均輸出単価は、総出荷量が減少したにもかかわらず、1.5%上昇して1リットルあたり2.85ユーロとなった。この上昇は、不振の原因が全カテゴリーにわたる広範な価格引き下げというよりは、販売された製品の構成に起因するものであることを示唆している。

主な要因はスパークリングワインだった。ブラジルのスペイン産スパークリングワインの輸入量は35.5%減の64万2,000リットル、輸入額は31.3%減の190万ユーロとなった。この大幅な落ち込みにより、スペインはブラジルにおけるスパークリングワインの輸入量で、これまで保持していた首位をフランスに明け渡すこととなった。

スパークリングワインを除けば、スペインの業績ははるかに安定していた。　ブラジル市場におけるスペインの主力製品であるボトル入りスティルワインの販売量は約1%増の290万リットル、金額は1.3%増の810万ユーロとなった。このカテゴリーの平均単価は1リットルあたり2.82ユーロと、ほぼ横ばいで推移した。

こうした業績の二極化は、全体として成長を続けた市場において、スペインの業績が伸び悩んだ理由を説明する一因となっている。　ブラジルの輸入増加は、金額面よりも数量面によって牽引されており、市場の最大セグメント、特にボトル入りスティルワインへの露出度が高い供給業者が最も恩恵を受けた。スペインのスティルワインは概ねその地位を維持したが、スパークリングワインの急激な縮小がそれらの成果を帳消しにしてしまった。

上半期のデータは、ブラジルのワイン輸入が長期的に拡大傾向にあるという傾向とも一致している。

同分析によると、2026年6月までの12か月間で、ブラジルは1億7,170万リットルのワインを輸入し、その価値は4億6,490万ユーロに達した。これは、直前の12か月間と比較して、数量で6.1%、金額で3.1%の増加を示している。

同報告書で引用されたブラジルの数値は、二次データと四捨五入された合計値に基づいている。Mercados del Vino社によると、この分析はOIVEが検証したSECEXの記録に基づいている。数値はユーロ建てであり、カテゴリー別の詳細情報が限られているため、このデータだけでは価格変動、製品構成の変化、為替レートの影響を完全に区別することはできない。　とはいえ、大まかな傾向は明らかだ。ブラジルは2026年上半期も輸入ワインの購入を拡大し続けたが、スパークリングワインの売上が急激に落ち込んだため、スペインはその成長の大部分から取り残されてしまった。